

TOMODY、Live配信オンラインスイッチングサービス「WRIDGE」をミックウェアが提供するドライブレコーダーや監視カメラ等の録画データ流通サービス「Mvcube™」と接続可能に

株式会社TOMODY（本社:東京都千代田区、代表取締役:富森健史、以下「TOMODY」）と株式会社ミックウェア（代表取締役社長 兼 会長：鳴島健二、本社：兵庫県神戸市、以下「ミックウェア」）は、共同開発を行い、ミックウェアが提供するドライブレコーダーや監視カメラの映像を自動的に収集し、様々な外部サービスで活用できる録画データ流通サービス「Mvcube™」（エムブイキューブ）に、TOMODYが開発中のLive配信オンラインスイッチングサービス「WRIDGE」のスマートフォンアプリから接続可能としました。

■共同開発の内容

ミックウェアが提供する「Mvcube™」は車に搭載されたドライブレコーダー等の複数のデバイスで録画されたデータの中から、日時、場所、デバイス等の条件に合った録画データを抽出・視聴することができます。

TOMODYが提供する「WRIDGE」は従来のライブ中継、映像作成の困りごとを解消し、今まで出来なかったことを簡単に実現してライブ中継者、映像作成者の負担やコストを軽減する、更には新たな映像表現を手軽に実現し、新たなコンテンツの作成が可能です。

今回の共同開発によって、この2社が提供するサービスを接続し、「WRIDGE」が提供するスマートフォンアプリから、「Mvcube™」に接続可能になりました。



■Live配信オンラインスイッチングサービス「WRIDGE」×録画データ流通サービス「Mvcube™」の特長

① ビデオカメラを備えた多くのデバイスの録画データに様々な指定検索条件でアクセス

パソコン、スマートフォン等外部サービスから映像が撮影された日時、場所、デバイス等の条件を指定するだけで、「Mvcube™」で管理されている接続可能な複数の録画データの中から、条件に合った録画データを抽出し、外部サービスで活用することができます。録画データはクラウドに保存されます。

② 映像のライブ配信時における撮影者とスイッチャー等のスタッフ間のリアルタイム会話

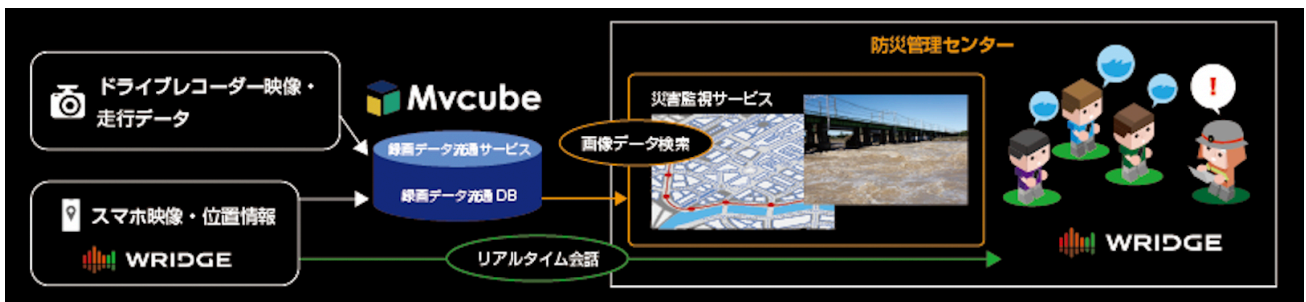
「WRIDGE」のアプリで撮影された映像のライブ配信時には、撮影者、スイッチャー等のスタッフ間でリアルタイムに会話を行うことができます。この会話は配信には流すことも流さないことも可能です。

■想定している活用事例

近年、多くの地域において増加している河川の氾濫等の水害。自治体や地域の住民の方々にとって重要な情報は危険な場所の位置、およびそこでどのようなことが起こっているか？という映像情報です。今回の開発機能は従来のドライブレコーダーでは撮影が難しかった「狭い道」や「堤防の上」等の車が入ることが出来ない場所の映像をスマートフォンでリアルタイムに配信することが可能になります。

更に、各地から届くリアルタイム映像を遠隔からスイッチャー機能を用いて必要な映像だけを配信することが可能になります。

事例：大型台風が接近しており、河川の氾濫が危惧される状況



① 通常の情報収集プロセス

河川の増水に気づいた職員が現場に向かい現場の状況をWRIDGEのスマートフォンアプリで録画(録画データは自動的にサーバへアップロード)

防災管理センターへ河川増水に関する情報が通知

防災管理センターの担当者は、Mvcube™で河川増水が発生している場所、日時を条件に録画データを検索し、複数のカメラで撮影された現地の映像を確認

② ①で録画データが見つからなかった、あるいは録画データの画像が不鮮明だったような場合

現地の様子を確認するため、付近にいる職員へライブチャットへの参加を依頼

通知を受けた現場付近にいる職員は、WRIDGEのスマートフォンアプリからライブチャットに参加

防災管理センターの担当者は、職員が撮影している現地の映像を見ながら会話ができるため、現地の詳しい状況を確認

■ 「WRIDGE」 とは？

～シンプルかつ直感的なUIで世界中と繋がるオンラインスイッチングサービス～

Live配信オンラインスイッチングサービス「WRIDGE」は、複数拠点の映像ソースをクラウド上でスイッチングし、配信できるサービスです。従来のライブ中継、映像作成の困りごとを解消し、今まで出来なかったことを簡単に実現してライブ中継者、映像作成者の負担やコストを軽減します。

1) ライブ中継、映像作成の様々な不便を解消し、大幅にコストを削減します

- ・ 複数拠点、複数のカメラを切り替えるスイッチング作業がタッチパネルだけで完了 (図1)
- ・ 全ての映像処理をクラウドで処理するので、カメラ現場の複雑な配線を排除 (図2)
- ・ スマートフォンだけでなく、各社ビデオカメラを「遠隔からコントロール」が可能 (図3)
- ・ カメラの中継現場同士で頻繁に必要なになる中継スタッフ同士の音声会話が可能 (図4)

2) 新たな表現を手軽に実現し、新たなコンテンツの作成ができます

- ・ 生放送においてリアルタイム動画をリプレイする事が可能 (図5)



図1 シンプルで直感的なUI



図2 現場の複雑な配線を排除

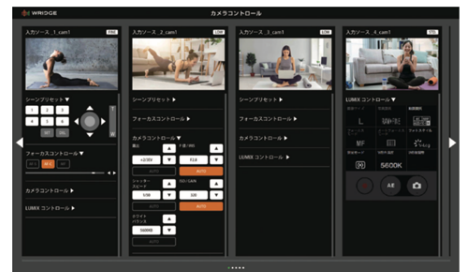


図3 遠隔コントロール



図4 スタッフ間トークバック、チームチャット



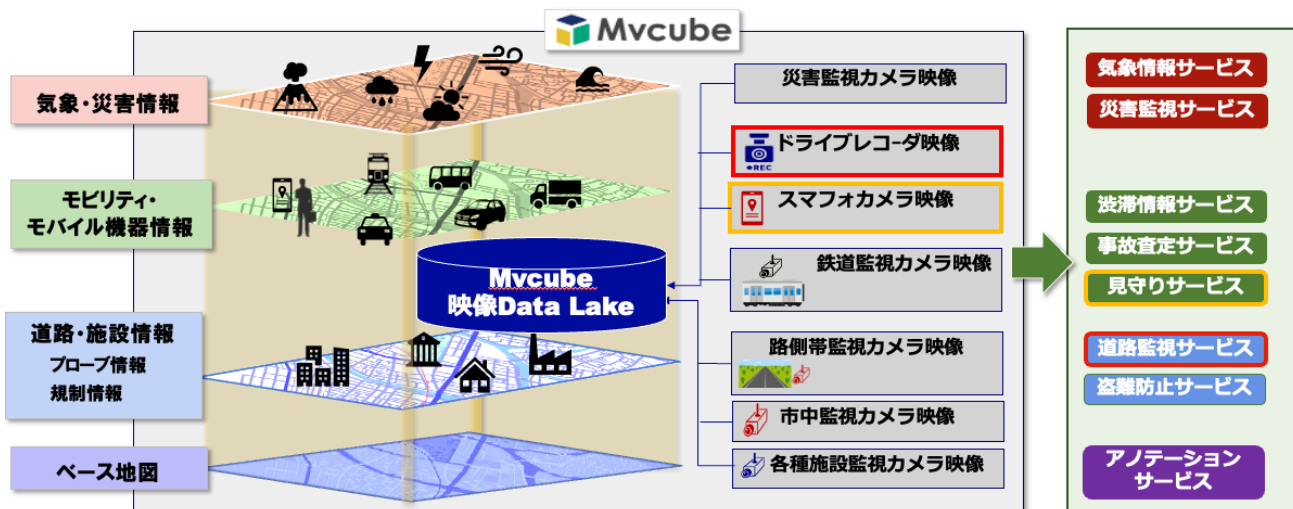
図5 中継動画のリプレイ

▼WRIDGE紹介サイト

<https://wridge.com/>

■ 「Mvcube™」 とは

「Mvcube™」は多角的な視点で映像データを収集、配信するサービスです。モビリティや各種監視映像データについて、シーン、位置及び時間に着目し、要求に応じて最適な映像データを提供いたします。



■株式会社ミックウェアについて

ミックウェアは、GPSを活用した車載システム組込み開発、車載機器におけるソフトウェアや位置情報サービスの企画開発を事業としています。日本国内市場シェア15%を占める年間60万台を出荷するカーナビソフトをはじめ、車載プラットフォームやスマートフォンアプリなど、お出かけを「便利に」「楽しく」「安全に」するサービスのソフトウェアを提供しています。

本社所在地：兵庫県神戸市中央区浪花町59 神戸朝日ビルディング

会社設立：2003年3月

代表者：代表取締役社長 兼 会長 鳴島 健二

事業内容：コンピュータシステム・ソフトウェアの企画・開発・製作・販売

URL：<https://micware.co.jp/>

■株式会社TOMODYについて

TOMODYは経営理念の「あらゆる体験をもっと身近に」を実現すべく世の中のニーズに適した「オンライン配信」を行うためのプラットフォームを提供致します。配信やオンラインレッスンに特化した配信プラットフォームを基盤として活用し、配信専用のスタジオの運営やオンラインレッスンの事業展開も行ってまいります。



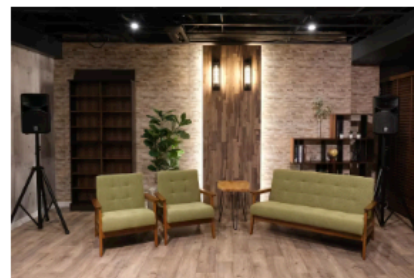
配信プラットフォーム事業

映像配信には、高額な機材と専門家の支援が必要とされてきました。TOMODYの提供する新規プラットフォームは、スマートフォンをはじめとした最小限の機材で誰にでもプロ並の映像配信を可能にします。



オンラインレッスン事業

コンセプトは、「絶対にうまくなる！」。動画をただ見るだけではない、リアルタイムかつ双方向の映像を用いた画期的なオンラインレッスンで、高い満足度・上達度を達成します。



配信スタジオ事業

「手ぶらで来場、すぐ配信」をコンセプトとした配信専用スタジオです。アクセス良好で、配信に特化した機材を完備。ワンオペで高画質・高音質配信を実現する、配信特化スタジオです。

社名: 株式会社TOMODY [トモディ]

所在地: 101-0061東京都千代田区神田三崎町2-11-12 アイロン三崎町6F

代表者: 代表取締役 CEO 富森健史

URL: <https://tomody.co.jp/>

▼本件に関するお問い合わせ先

株式会社TOMODY 広報担当 桂

メールアドレス : pr@tomody.com

問い合わせフォーム : <https://tomody.co.jp/contact/>